

元消防士

命を守る政治



「〇〇方、生まれそう」深夜に出場指令が入り、私は救急隊員として現場に急行。目の前には意識なしのお母さん。おばあちゃんが赤ちゃんを取り上げていた。生まれそうではなく、産まれていた。しかし、赤ちゃんは泣いていない。救急隊長から、「甲斐!吸引器!」と下命を受け…、懸命な処置もあり、赤ちゃんお母さん共に無事。「おめでとうございます」と病院で伝えることが出来た。これは私の消防人生で最も痺れた経験であり、最もやり甲斐を感じた瞬間です。現在、救急車到着まで平均して10分以上かかるようになってきており、先述の「生まれそう」事案の頃から約3分程遅くなっています。もし、あの時3分到着が遅かったら…、想像してください。あなたの大切な方が今急病や事故で命の危機に瀕した時の10分を。とてつもなく長い10分に感じるはずです。助かるはずの命が助からなくなっている現状があります。私はこれを何とかしたいのです。何をしても命あって。ですよ。具体的には①#7119の認知向上②民間救急との連携③顔見知り・顔なじみを作ることが重要であると考えます。

「命を守った経験を市民を守る政治に活かす。」

- 1 救急車の到着を1秒でも早くするために!
- 2 地域の実情にあった防災体制づくりを!!

甲斐
まこと
経歴

学生時代はバレーボールに打ち込み、主将として全国大会に5度出場。法政大学卒業後は、俳優の道へ。東日本大震災を機に消防官に転職。約4000件の災害・救急現場を経験。現在は映像制作会社を経営する傍ら、防災の普及活動に励む41歳。

甲斐まことの
活動配信を
見てください!



ホーム
ページ



みんなの声を
しっかり市政
に届けます!

この街の
防災や防犯

出産や
子育て教育

介護や
高齢者福祉

物価高など
生活

かい
甲斐
まこと
41歳
自民党
公認